



山口 尚秀 殿

■事績

今治市出身の19歳。

山口尚秀さんは3歳の時に知的障がいに伴う自閉症と診断される。

水泳を始めたのは4歳の時で週1日の障がい児コースに通っていた。

本格的に取り組み始めたのは高校2年の時で、全国障害者スポーツ大会の出場がきっかけだった。

身長187cm85kgの恵まれた体格を活かした力強いストロークで記録はぐんぐん伸び、2019年には5月に出場した国際大会の100m平泳ぎで銅メダルを獲得。

またパラ水泳春季記録会では100m平泳ぎで好タイムをマークし世界パラ水泳の日本代表に選出される。

そして9月にロンドンで行われた世界パラ水泳の100m平泳ぎ知的障がいクラスに出場すると、1分4秒95の世界新記録を樹立し金メダルを獲得。

東京パラリンピックの日本代表に内定した。

県関係選手の東京オリンピック・パラリンピックの日本代表内定第一号となった。

12月には四国ガスに就職して、より練習に打ち込める環境が整い、今治市の瀬戸内温泉スイミングで健常の高校生たちと厳しい練習に励み、東京パラリンピックでの金メダル獲得を目指している。

受賞歴：愛顔のえひめ文化・スポーツ賞